

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471903102	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日		
法人名	有限会社 レオ			
事業所名	グループホーム吉井の郷			
所在地	(239-0804) 神奈川県横須賀市吉井1-9-4			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年10月5日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月28日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471903102&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム吉井の郷では、明るく、家庭的な雰囲気の中で入居者としてではなく、家族として入居していただいています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞﾌﾞﾌﾞ ﾃﾞﾝ ﾃﾞﾝ 3階		
訪問調査日	平成22年10月27日	評価機関 評価決定日	平成23年1月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホーム吉井の郷は、JR・京浜急行久里浜駅からバスで10分程の緑豊かな山のふもとに位置し、夏にはホタルが飛び交うほど自然に恵まれています。</p> <p>利用者、家族、職員などホームに関わっている人は一つの「大家族」である、という思いを基本に信頼、優しさ、笑顔で過ごせるホーム作りに努めています。</p> <p><優れている点></p> <p>ホーム長以下職員の仕事に対するモチベーションは高く、症状が重くケアが難しいと思われる利用者も積極的に受け入れています。終末期ケア、看取りケアも数例の実績があります。</p> <p>協力医療機関、訪問看護師との連携体制が整えられており、医療面からの支援は24時間体制で協力を得られています。</p> <p><工夫している点></p> <p>入浴に関しては、あえて機械浴は導入せず、介護度の高い利用者も複数の職員で安全に介助を行なっています。</p> <p>ホームを地域の緊急避難場所、災害用備品の保管場所とする計画が町内会と進められています。ホーム長の地域の方々との人間関係やネットワークを生かし、今まで以上に地域と連携協力関係を深めていく取り組みが始まろうとしています。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム吉井の郷
ユニット名	1階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念を話し合える場を設ける。管理者と職員、理念を共有して実践している。	利用者・家族、地域、職員を1つの家族と考え、言葉づかいも態度も在宅のときと同じような感じに対応しています。この考えのもとに信頼、優しさ、笑顔で過ごせるホームづくりを、職員とともに作り上げるよう努めています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事の参加、クリニックや薬局、買物、また、ホーム内で町内の八百屋さんが週1,2回ほど出店されています。	地域の夏祭り参加、お神輿のホームへの立ち寄り、散歩の際近所の子供たちとの挨拶、ホーム行事のバーベキュー大会、ホームのお祭り、中学生の福祉体験などの交流を通じ交流を深めています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事参加はもちろん、ホーム内の行事にも参加を、お願いしています。	/	/	
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議等には多く参加されサービス向上に活かしている。	会議の構成が変更となり、出席メンバーは家族代表2名、町内会長、民生委員、市職員、ホーム長、スタッフ各1名となりました。開催は10月まで4回、テーマは事業報告、外部評価報告、介護保険制度の説明などがありました。	今後運営推進会議を活性化するため資料、会議録などの整備と会議の議題についての工夫、検討が期待されます。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	連絡を取り、また町内会長様の方も訪問して下さる。協力関係を築くよう取り組んでいる。	利用者のニーズに様々なものがあり、それが制度上馴染まないもあり、対応に苦慮する場合も見受けられます。市担当者とは綿密に連絡を取って、事業所のサービスの実態を報告し、制度の運営が円滑に行えるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は正しく理解しており、しないケアに取り組んでいる。	玄関ドアは自動ドアです。内部からの飛び出しを防ぐため、装置があります。在宅時に徘徊のあった人も、ホームに来て落ち着き、徘徊が少なくなりました。夜間の不穏の懸念がある時は見守り可能な場所に寝所を移して安全を確保しています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	常に話し合いを持ち、防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用中。関係者ともよく話し合いを持って支援している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得、理解していただけるまで説明をしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	それぞれの意見等は十分に聞き、機会を設けて、運営に反映している。	折にふれホーム長は、利用者、家族の相談や希望を聞いています。職員も利用者・家族からの相談や要望を聞き、ホーム長にすぐ届くようにしています。また家族アンケートからの多くの情報を、カンファレンスで共有しケアに生かしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回定例カンファレンスを開催し意見を聞いている。	カンファレンスでは、運営からサービスに至る広い範囲のことがテーマになっています。都合で欠席の場合は、回覧等により情報を共有しています。その他食事会などは職員交流の場ともなりとても役立っています。	カンファレンスは、一時休止になっていますが、早期再開の検討と整備が期待されます。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規定集を設け、いつでも確認できるようにしている。契約更新時には、個々に条件等を説明している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員には、ベテラン職員が指導している。可能な限り外部研修を受講できるようにしているが、一年間に全員の受講は困難である。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	個人的につながりのある職員はいるが、事業者としてはネットワーク作りはできていない。同一ブロック内の事業主間での交流はある。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	来所可能な方はホーム内を案内し説明し、来所不可能な方には訪問し説明、相談に乗っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方に見学に来て頂き、情報を聞き出し、ホームの機能、方針等を説明している。また、疑問、不安の解消に努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームに入居できない場合でも、市のサービス、他の事業所等、知りうる限りのサービス等を紹介している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	畑仕事等、利用者に教わりながら作業をしたり、折り紙、新聞紙のゴミ箱作りなどを共に作り、利用者同士教えあったりしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の顔を見るのが最も望ましいことを伝えている。来所されると、一緒に散歩に行ったり、外食に行かれる家族もいる。頻りに面会に来られる家族もあり、日頃に様子を伝えると歓心されています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、近所の方等、いつでも来所して頂き、繋がりも維持できる様にしている。	家族はもちろん昔からの友人、近所の方の訪問があります。 入居前に利用していた美容院へ行く時は職員が付き添っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人のメッセージに耳を傾けるよう努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者が亡くなられた後も家族が遊びに来てくれるような雰囲気を作れるように努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者同士が自分らしくいられる様に努めている。同じ人間として努めている。	利用者の認知度や状態の低下により思いや意向の把握がむずかしくなっていますが、表情やちょっとした動作などからも汲み取るように努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族に個人の歴史、生活歴を聞く。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	なじみの環境に慣れていただく様に努めている。一人一人に役割を持って頂く様に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の希望、意向を基にスタッフ間で話し合ったり、月1度のミーティング時に意見交換をし看護計画に活かしています。</p>	<p>より利用者の現状に即した介護計画作成のため、モニタリング、会議、介護計画を一から考え直すことを検討中です。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録表、介護経過記録、業務日誌等に、日々の様子を詳細に記入し、スタッフ全員が各利用者の状態が理解出来るようにしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>お風呂上りのビールや食後の一服等、本人の希望を出来るだけ、叶えられる様に可能な限り話を聞き、希望を叶えられるようにしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>必要性のある場合のみ、地域の民生委員と協力しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前のかかりつけ医から紹介状をもらい、提携医に切り替えています。但し、入所前のかかりつけ医を希望される場合はそのまま通っています。かかりつけ医、提携医とも利用者の状態を気をつけています。</p>	<p>利用者のほとんどがホームの協力医療機関に切り替えています。入居前のかかりつけ医への受診も対応しています。家族の状況により受診の際は職員が付き添うこともあります。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム全体として訪問看護ステーションと契約しています。相談等ももってきています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当の先生やソーシャルワーカーなど、情報交換、相談に努めています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームドクター、訪問看護、御家族と話し合い、情報を共有し連携を実施しています。スタッフ間でもミーティングなど話し合い、全ての情報や方針を共有しています。	入居時、重度化した場合における（看取り）指針に基づき説明しています。状態の変化により随時話し合い、確認しています。関係機関とも常に連絡をとり連携しています。開設から複数例の看取りの実績があります。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフを順番に救命救急の講習を受けさせている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラー導入によって見直し中。抜き打ちでの非難訓練を行い問題点をマニュアル化する。	今年度スプリンクラーが設置されたことによりこれまでの訓練やマニュアルなど見直すことになっています。ホームを地域の緊急避難場所、災害用備品の保管場所とする計画が町内会と進められています。	訓練実施、マニュアル整備、地域との協力体制の強化など現在検討中の懸案を早急に具体化し、取り組まれることが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人に対して人格を尊重し、又、本人の気持ちを理解し、個々に対応しています。	ホーム長や先輩職員が業務を通して手本となる対応を行っています。 ホーム長のこのホームは「大家族」であるという思いから、利用者とはフランクな関係性を築いています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや意思表示を尊重しています。分かりやすい説明や誘導をするように心掛けています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースや身体の状態に合わせた生活の時間をとるようにしています。本人の起きたい時に起きる。寝たい時に寝るなどを含め希望に添って支援しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人から希望があればすぐに。または、定期的に美容院や理容店へ予約を取りスタッフと一緒にしています。日々の着衣なども本人に任せたり、一緒に選んでもらったりするように心がけています。			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の力にあったお手伝いをお願いしています。各テーブルに一人はスタッフが座り話をしながら一緒に食事をしています。	噛み、味わうことが刺激となり利用者のADL（日常生活動作）の維持に繋がるとの考えから、利用者の嚥下力に合わせ食事形態を配慮しています。利用者と職員が並んでおしゃべりしながらデザートの前を剥いている光景が観察できました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に応じ声掛けし摂取して頂いている。水分はその都度確認し、少ない時には水分補給の声掛けや介助している。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケア実施、義歯は就寝時に預かり消毒しています。状況に応じ歯科医が往診してくれています。			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その人に応じた排泄介助を行っている。排泄チェック表を確認し、2時間おきにトイレ誘導を行っています。	チェック表により一人ひとりの排泄パターンを把握し、その方のリズムに合った支援を行っています。昼間はリハビリパンツを使用するなどおむつの使用を減らしています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日を通し水分摂取量をチェックしている。また、水分補給時にオリゴ糖、牛乳などを取り入れている。おやつに寒天を使い、工夫している。医師の指示により下剤も使用しています。			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	2日に1度の入浴を行っているが時間は決めておらず、本人の希望の時間に入浴している。	原則は2日に1回ですが、利用者の希望に任せています。時間帯も夜間を除き柔軟に対応しています。浴室の中央に浴槽が設置されているため、両サイドから介助ができ、介護度の高い利用者も安全な入浴が可能です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝たい希望があれば休んでもらい本人のリズムに合わせた休息をとっていただいている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に服薬している薬の一覧表を確認している。また薬が変更、追加になった時にはその都度、目的や用法を確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑の好きな方には一緒に畑仕事をしたり夕方になると、ホーム内の電気を点けて廻ってくれる方もいます。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人がカット、パーマの希望があれば地域の美容院にスタッフと行っている。個々には難しいが数人で散歩などに出かけている。夏には家族の方々とバーベキューをします。	散歩や買い物の誘いなど職員から働きかけていますが、利用者のADLや意欲の低下により外出の機会は減っている現状があります。個人の希望に柔軟に対応できる体制は整えられています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	病院の帰りなど本人の希望であれば売店などで買物しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	基本的には本人の意思に添うよう支援を行うよう指導を受けていますが認知の強い方も多く状況に応じた対応をしている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用区間については不快をまねかないように清掃を心がけていますが室温については個人の感覚もあり衣類で調整することもある。ホーム内で生活することが長いので行事やレク、飾りなどで季節感を出すようにしている。	建物全体がゆったりとした造りになっています。臭いがこもらないように掃除や換気に気をつけています。浴室、脱衣室は入浴前から暖めておくなど温度差に配慮しています。リビングの飾りつけは行事ごとに新しく作り変えています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間で完全に独りになる場所はないが自席のテーブルより離れ人の動きを感じながらも独りで過ごせるようソファも用意されている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に本人の好きな物や馴れ親しんだ物を持ち込んで頂く様お話をしている。	クローゼット、洗面台は備え付けられています。使い慣れたタンス、仏壇、家族の写真など持ち込まれ、その方らしい居室の工夫があります。後付けであることで止むおえないとは思われますが、スプリンクラーの取り付け方に違和感を感じました。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日常の生活の中で作業（仕事）を行う時、声をかけ一緒に作業をし自分にもまだ出来ると感じてもらえるよう言葉かけにも気をつけ、支援したり出来ることを把握した上で作業をお願いするよう心がけています。		

事業所名	グループホーム吉井の郷
ユニット名	2階

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者により、理念の説明を受け、職員も一人一人努めている		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ミーティングの参加への声かけ。季節の行事に参加する。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	学生ボランティアにより利用者の生活、介護等を触っていただく。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月開催し、その中で意見を述べ、よいサービス向上に努めている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ケアマネージャーを中心とし、各職員の意見、要望を伝えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	話し合い等にて正しく理解しているが利用者の安全のためどうしてもない場合家族等に理解をお願いする。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング等で話し合い、職員一人一人、常に心がけている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会、セミナー等、参加しミーティングにて話し学び実勢できるよう努めている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	常に連絡を取り理解、納得がいくまで説明を行い話し合っている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族にアンケートをとり、評価し、ミーティングにて話し合う。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングの際、意見、提案を伝え、話し合える機会と成っている。ミーティング以外でも意見や提案は管理者に伝えられる。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間の希望等は、個々の状況に応じ管理者は努めてくれています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護技術を高めていけるようにスタッフ間で意見交換したり工夫を伝え合うことが出来ている。外部研修はスタッフの人数に制約があるため、あまり受けられていない。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	相互訪問は機会が少ないため、もう少し回数があれば、より良いサービスの向上へとつながると思います。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族、本人との時間をとり、管理者が聞き取りをしている。できるだけ話しやすいよう管理者は笑顔で雰囲気づくりをしている。又、ホームの見学も時間を掛けてゆっくりと案内している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の訴えに耳を傾け関係作りに努めています。家族からの質問、疑問に一つ一つ応えています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族からの要望、相談に耳を傾け、他の事業所サービスを紹介している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人主体とし職員から一方通行にならないよ、声をかけ、決定してもらえよう努め、レクを行う際も利用者の方と話し合ったりしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来所された際に一緒にお茶を飲んだり、近況の報告をしたり楽しい時間を過ごしていただけるようにしています。時には、おやつも一緒に召し上がっています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、馴染みの方にいつでも来所して頂き、外部とのつながりを保っていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが一人一人の名前を呼ぶことにより名前を覚え一緒に作業をしたり、孤立することなく楽しい時間を持てるようにしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも、遊ぶに来ていただける様な雰囲気を作り、いつでも来られる状態にしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の訴えや希望があれば困難な状態にならない限り検討して、受け入れたい。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者の話を聞く、また、家族の方の情報を活かし、当ホームの生活に生かしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日を通して、食事、排泄を記録してスタッフ全員で現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすため、ケアのあり方についてミーティング時に意見交換し、介護計画に生かしている。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日勤、夜勤協力して記録している。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	訪問看護ステーションや訪問リハビリ、各科のドクターの診察、看護を受けている。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	本人及び家族の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	かかりつけ医、提携医とも連絡を取り合って利用さyの状態に気をつけています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時、直接指導を受けたり居室に置かれたノートにより介護職員は現状を把握している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者、ケアマネ、主任、時にはスタッフが入院先を訪ねている。その後も連絡ノートにより他のスタッフにも現状が知らされている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期、看取りに話しをして、その際の本人、家族の希望を把握し、職員に伝えられています。訪問看護ステーションあるいは提携医とも方針を共有しています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ナースステーションの連絡方法、緊急時連絡網の整備、これらスタッフが入退するたび整備されている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	大事なのは分かっていますが、今まで全員での訓練は記憶にありません。但し、机上の訓練はミーティング時に何度か行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ使用の際、ドアを閉める。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自立している人には手伝いをお願いする。よく話を聞いてあげる。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく話しかけその時の希望を引き出す		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴の際、希望の洋服をなるべくそろえる。色合いが考えられれば色彩よく。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際、なるべく分かり易いわだいを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その人に応じた声かけを行い、1500ccを目安に、栄養摂取量も一日を通して確認して記録している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後のうがい、歯磨き、義歯は夜間消毒している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個別のペースに合わせて介助、誘導を行っている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日の排泄を確認し、チェック表に記入、便秘の人には牛乳、ヨーグルトを飲ませ出易いようにしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>2日おきに入浴が決まっているが不安のないように2人介助で行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人一人に合わせた援助を行い休みたい時に横になって頂けるよう支援を行っている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬のないよう一人一人自分自身意識しており、なおかつ職員同士、服薬時、声を掛け合うなど行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員との会話を楽しまれる方が多く、その中で利用者様の得意なカラオケを行ったり、折り紙を行ったりしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物がてらのお散歩やドライブ、遠足等の外出機会は出来るだけ多く作っています。また、午前、午後のお茶の時など外でのお茶の時間を作ったりしています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物など一緒に行って頂き支払いなど、行ってもらうようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の訴えに応じてご家族への電話など行えるよう支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には利用者と一緒に作ったカレンダー等の作品が展示され季節感を出している。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士、会話が出来るような居場所も作りつつ、独りになりたい場合別の席にも行って頂けるよう支援している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのエアコン以外は利用者の好みに合わせたり、ご本人の使い慣れた物を持って来ていただき心地よい空間を作っています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人得意な家事を手伝って頂いたり、カレンダー作りや折り紙、それぞれに合った事を行って頂けるよう工夫している。		

目標達成計画

作成日：平成 23年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者全員の介護度が上がり、技術、コミュニケーションの向上が必要。	個々の介護技術の差をなくし、さらにワンステップ上を目指す。	勉強会、研修会に参加し、知識、技術を学ぶだけでなく、職員同士の知識、アイデアを取り入れ全員で協力する。	3ヶ月
2		同上によるためケアの時間が増え、時間の使い方	利用者に係る時間を減らさず、かつ、ケアの時間を増やす。	出勤時間を変更し、人手が必要な時間帯に人員を配置する。	ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。